

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぽぽわ		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数) 12名
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・活動(プログラム)内容の充実 創作活動や、音楽プログラム、運動プログラム、外出等、毎日様々な活動を実施している。	・質を高められるよう各個人での研修内容を共有している ・個別療育や小集団療育の内容が共有できるよう朝礼・夕礼のミーティングをしっかりと行っている ・保護者交流会で、親御様のニーズを聞き、ニーズに合わせた活動を実施している。	・スタッフ間で実施内容を各自の学びにつなげられるよう、個別支援会議の場をより有効に利用していく ・より多くの親御様のニーズに合わせた活動を提供していく。また事業所の中だけでなく、地域のお子様と関わる事が出来る活動を立案していく。
2	・生活空間の工夫 事業所内の天井飾りや壁面に力を入れ、室内でも季節感を感じられる。	・季節によって外に出ることが難しいお子様も季節や行事を感じられるよう、毎月事業所内の雰囲気を変えている。また、自力で動くことが難しくても視覚で楽しめる空間を作り、お子様全員が楽しめる環境を整えている。	・職員間でアイデアを出し合い、より季節感のある空間を目指し、肌で感じてもらえる様にする
3	・個別対応しているため、子どもさんの特性、興味、関心を熟知し、支援方法に精通している。	・サービス終了後、保護者に当日の様子を丁寧に説明している。 ・保育所・小学校、相談支援事業所と、適時に情報交換している。	・今後も保護者や関係機関と情報交換を重ねながら信頼関係を深め、子どもさんの発達支援に努めたい。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・非常時等の対応の実施が保護者に認知されていないこと	・実施した様子を保護者に伝えきれていない	・機会をみて、児発管から保護者に強調して伝えていく ・実施した日に様子を指導員から保護者に伝えていく
2	・Instagramを随時更新しているが、発信していると認知されていないこと	・アンケートの項目に該当するものが存在することが認知されていない	・機会をみて、児発管から保護者に強調して伝えていく ・内容を充実できるか検討していく
3	・地域住民との活動(インクルーシブ視点)	・時間の兼ね合いで、平日に公共施設を利用することが難しい。また、個人情報の兼ね合いもあり、交流が少ない。	・可能な限り公共施設を利用し、地域の方との交流を増やしていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ぼぼわ
------	-----

公表日 2025年 3月 11日

利用児童数 14名

回収数 12名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	11			1		・限られたスペースですが、お子様に必要な活動内容などを工夫して行っています。	
	2	9			3		・基準を満たした配置をしています。	
	3	12					・段差のないスロープ型の玄関など工夫を行っております。	
	4	10			1		・毎日清掃を行っております。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	12				・子どもの特性を理解して頂いており個別対応を考慮して頂いている。	・個別療育であるため、1人1人にあつた療育を提供しております。	
	6	12					・面談のときに話しをして、確認をして貰っています。	
	7	12					・保護者様と情報共有を行い、ニーズ等把握しながら支援計画を作成しております	
	8	12					・5領域に沿って支援計画や支援内容を設定しています。	
	9	12					・計画に沿って支援を提供しています。	
	10	10				2		・職員が日々の支援内容を工夫して組んでいます。
	11	7			1	4		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	12					・契約の際に説明させていただいています。今後も変更があれば、その都度説明を行っていきます	
	13	12					・半年に一度面談を行い、振り返りや今後の課題と共に説明をして保護者様と共有しています。	
	14	10				2		・ご家族の困りごと等については、個別にご相談の時間を作っています。
	15	12					・細やかにご連絡頂き情報共有させて頂いております。	・個人プログラムの後、課題内容や取り組みの様子について伝えさせていただく際は、子どもさんの自尊心を大切に、状況に配慮いたします。
	16	12						・日々の聞き取りも含めて、定期的に面談の機会を作っています。
	17	12						・寄り添える支援を行えるように日々取り組んでいます
	18	8		2		2	・参加の機会はあったが、仕事の都合上参加できなかった。	・定期的に保護者会を開催しており保護者同士も交流を行っております。今後も開催予定ですので、ご都合が合えば是非ご参加下さい。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12				・突然の休みや利用などすぐに対応していただき大変助かっています	・ありがとうございます。今後も可能な限り対応させていただきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12					・日頃から保護者様や子どもとのコミュニケーションを大切にしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12				・Instagramでの利用の様子が見られるので楽しみにしています。	・ありがとうございます。今後も随時更新していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	1				・十分気を付けているつもりです。お気づきのことがありましたら遠慮なくお申し出下さい。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9			3		・当事業所が策定しておりますマニュアルに基づいて対応しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4			8		・定期的に防災訓練を実施しています。今後は実施前に予告、実施後には報告をさせていただきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10					・今後も安全面には十分に配慮し、支援を行っていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10			2	・その都度、丁寧にご連絡を頂いております。	・引き続き、その都度なにかあれば丁寧にご説明させていただきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11	1				・療育を通して信頼関係を築き、安心して通所できるよう支援しています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	11	1			・ぼぼわに行きたいと本人から言ってくれるので嬉しいです。安心しています。 ・本人の訴えで行く日・行かない日があるが、行けば楽しんでいる様子である。	・ありがとうございます。今後ともかわらぬ支援を志します。 ・ぼぼわでの時間が楽しい時間となるよう工夫していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12					・利用児と保護者の方、一人ひとりに寄り添いながら、発達のお手伝いができるよう支援することを心掛けています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ぼぼわ		公表日		2025年 3月 11日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		法令に基づいたスペースを確保しています。	現状を維持していきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		法令に基づいたスペースを人員以上を配置しています。	現状を維持していきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		外部で道路に面していてフェンス等がない部分があるが、職員の対応にて利用者を見守り十分に考慮して対応している。	現状を維持していきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		清掃・換気を季節を問わず心掛けている。こまめに清掃を行い心地よく過ごせる環境整備を心がけています。	現状を維持していきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		集団活動や、個別に応じて臨機応変に環境を整えています。	現状を維持していきます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		日々職員間で情報を共有し、ケースカンファレンスを定期的に行っています。	定期的カンファレンスを行えるよう、予定表に記入うして全職員に周知する	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		年に一度保護者の方にアンケートにご協力して頂きご意見を受け止め、業務改善に努めています。	定期的カンファレンスを行えるよう、予定表に記入うして全職員に周知する	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		日々職員間で情報を共有し意見を反映するように努めています。	必要な情報はメモにして周知する。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4	今後必要に応じて検討していきます。	今後必要に応じて検討していきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		スタッフミーティングを実施しています。	様々な内容の研修会を実施する。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		ホームページにて公表していきます。	現状を維持していきます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4		お子さんの成長、発達に応じてアセスメントを行っています。	現状を維持していきます。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		カンファレンスの場で共有し話し合うようにしています。	現状を維持していきます。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		児童発達支援計画をもとに個々に合わせた支援を行っています。	全職員間で、しっかり確認していきます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		事業所独自の物を使用し、お子さんや保護者の方の状況やご要望を理解できるためのアセスメントを心がけます。	日々の気づきを書き留めて、職員間で検討、確認を行います。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		保護者の方のご要望を大切にお子さんに必要な支援の内容をわかりやすい文章で表現するようにしています	現状を維持していきます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		支援にあたる職員で意見を出し合い、よりよい内容になるようにしています。職員間で意見が出しやすい環境作りをしています。	日々の気づきを書き留めて、職員間で検討、確認を行います。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		お子さんの特性や発達に合わせながら季節を感じられる製作や音楽、体操などを取り入れています。	職員で話し合い、新しいものも取り入れる。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4		特性及び発達状況に合わせて個別と集団のバランスを考えて計画していきます。	日々の気づきを書き留めて、職員間で検討、確認を行います。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		主担当の職員を中心にその日の内容、動きを確認、共有していきます。	現状を維持していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		その日行われた支援について振り返り、気づいた点を共有し次につなげています。	現状を維持していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		日々の活動記録を取り、成長や発達に合わせた内容の見直しをしています。	日々の気づきを書き留めて、職員間で検討、確認を行います。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		半年に一度モニタリングを行い、振り返りや今度の課題を保護者の方と共有しています。	普段から気になることを書き留めて振り返りやすくしていきます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		担当者会議には、児童発達支援管理責任者が極力出席するようにしています。	他の職員も必要に応じて出席します。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		直接保育所の保育士さんと情報共有のため、お話をする機会を持っています。	現状を維持していきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		保護者の方を通して、支援内容の情報共有と相互理解をする場合と直接お話をする場合があります。	各機関と今以上に開けた事業所を目指します。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		保護者の方を通して、支援内容の情報共有、直接お話をする場合があります	各機関と今以上に開けた事業所を目指します。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		4	今後は事業所向けの研修にはできる限り参加し、助言を受けます。	様々な内容の研修会に参加します。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	2	個人情報のため、交流を希望されない保護者様もいらっしゃるが今後は考慮しつつ検討したい。	状況に応じて臨機応変に対応できるよう心がけます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		保護者の方には、送迎時や連絡ノートで情報を共有しています。個別面談もしています。	日々の療育のプログラムや様子をしっかりと伝えることを心掛けます。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1	ご家族での困りごと等については、個別にご相談の時間を作っています	相談しやすい関係を築けるよう、信頼関係の構築を目指します。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		契約時にお話をしています。	ご理解いただいているか、各項目で確認しながら丁寧に説明します。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		日頃から保護者の方と話をする機会をとり、情報や要望を共有しています。	相談しやすい関係を築けるよう、信頼関係の構築を目指します。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4		保護者の方と面談を行い、しっかりと確認して頂いています。	現状を維持していきます。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		定期的には保護者の方と話をするなど、対話の時間を大切にしています	相談しやすい関係を築けるよう、信頼関係の構築を目指します。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4		保護者会等の行事を行い家族で参加して頂き交流の場を設けています。	保護者同士が交流できる行事を毎年開催できるよう考えていきます
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		相談があったら早急に職員で情報を共有し相談し対応にあたっています	相談しやすい関係を築けるよう、信頼関係の構築を目指します。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		Instagramでの配信で定期的に配信しています。	分かりやすく見やすいお便りであることを心掛けます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		職員一同、十分に気を付けるようにしています。	現状を維持していきます。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		お一人お一人の状況に合わせた分かりやすい対応を工夫しています	相談しやすい関係を築けるよう、信頼関係の構築を目指します。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4		ご招待はしていませんが、地域の方との関係を大切にしています。	地域に開かれた運営ができるよう交流機会を考えていきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		マニュアルを策定し、職員に周知すると共に毎月訓練を実施しています。	様々な事故を想定した訓練を定期的に行います
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		避難訓練は、毎月実施し、一年に一度危機管理課の元、訓練を実施しています	職員と利用者が参加し非常事態を想定した訓練をします。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		契約時に必ずフェイスシートを保護者に記入してもらい確認しています	フェイスシートに変更がある場合はその都度連絡を貰い、記入していきます。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		保護者からの申し出に対応しています。	フェイスシートに変更がある場合はその都度連絡を貰い、記入していきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		職員の研修を行い、安全管理に対して意識を高めています	現状を維持していきます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		事業所内へ安全計画書をそなえてあり、いつでも保護者が確認できるようにしています。	保護者、利用児共に安心して事業所が利用できるようにしていきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		事故報告書、インシデント報告書を使用して、危険事項の共有をしています。	危険だと思うことがあればメモを取り、ヒヤリハットとして職員で共有します。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		虐待防止委員会を作り、意識向上のための研修を実施しています。	現状を維持していきます。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4		現在対象児童はおりませんが、医師の指示のもと必要な場合は保護者の同意書を頂き、計画書に明記します。	現状を維持していきます。

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぽぽわ		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数) 8名
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・活動(プログラム)内容の充実 創作活動や、音楽プログラム、運動プログラム、外出等、毎日様々な活動を実施している。	・質を高められるよう各個人での研修内容を共有している・個別療育や小集団療育の内容が共有できるよう朝礼・夕礼のミーティングをしっかりと行っている ・保護者交流会で、親御様のニーズを聞き、ニーズに合わせた活動を実施している。	・スタッフ間で実施内容を各自の学びにつなげられるよう、個別支援会議の場をより有効に利用していく ・より多くの親御様のニーズに合わせた活動を提供していく。また事業所の中だけでなく、地域のお子様と関わる事が出来る活動を立案していく。
2	・生活空間の工夫 事業所内の天井飾りや壁面に力を入れ、室内でも季節感を感じられる。	・季節によって外に出ることが難しいお子様も季節や行事を感じられるよう、毎月事業所内の雰囲気を変えている。また、自力で動くことが難しくても視覚で楽しめる空間を作り、お子様全員が楽しめる環境を整えている。	・職員間でアイデアを出し合い、より季節感のある空間を目指し、肌で感じてもらえる様にする
3	・個別対応しているため、子どもさんの特性、興味、関心を熟知し、支援方法に精通している。	・サービス終了後、保護者に当日の様子を丁寧に説明している。 ・保育所・小学校、相談支援事業所と、適時に情報交換している。	・今後も保護者や関係機関と情報交換を重ねながら信頼関係を深め、子どもさんの発達支援に努めたい。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・非常時等の対応の実施が保護者に認知されていないこと	・実施した様子を保護者に伝えきれていない	・機会をみて、児発管から保護者に強調して伝えていく ・実施した日に様子を指導員から保護者に伝えていく
2	・Instagramを随時更新しているが、発信していると認知されていないこと	・アンケートの項目に該当するものが存在することが認知されていない	・機会をみて、児発管から保護者に強調して伝えていく ・内容を充実できるか検討していく
3	・地域住民との活動(インクルーシブ視点)	・時間の兼ね合いで、平日に公共施設を利用することが難しい。また、個人情報の兼ね合いもあり、交流が少ない。	・可能な限り公共施設を利用し、地域の方との交流を増やしていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ぼぼわ
------	-----

公表日 2025年 3月 11日

利用児童数 12名

回収数 8名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8					限られたスペースですが、お子様に必要な活動内容などを工夫して行っています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	6	2			職員は多ければ多いほうが安全が確保されるのではと思います。	基準を満たした配置をしていますが安全確保の面での増員を検討いたします。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6	2			車道が近いので、飛び出し等を防ぐ目的のついたてなどある方が安全だと思います。	段差のないスロープ型の玄関など工夫を行っております。今後はついたてなども検討します。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8					毎日清掃を行っております。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6	2			・子どもの特性を理解して頂いており個別対応を考慮して頂いている。	個別療育であるため、1人1人にあった療育を提供しております。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8					面談のときに話しをして、確認をして貰っています。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8					保護者様と情報共有を行い、ニーズ等把握しながら支援計画を作成しております
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8					5領域に沿って支援計画や支援内容を設定しています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8					計画に沿って支援を提供しています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8					職員が日々の支援内容を工夫して組んでいます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	5				3	児童館などで地域の子どもの交流を行っております。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8					契約の際に説明させていただいています。今後も変更があれば、その都度説明を行っていきます
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8					半年に一度面談を行い、振り返りや今後の課題と共に説明をして保護者様と共有しています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6				2	ご家族の困りごと等については、個別にご相談の時間を作っています。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	8					・細やかにご連絡頂き情報共有させて頂いております。 個人プログラムの後、課題内容や取り組みの様子について伝えさせていただく際は、子どもさんの自尊感情を大切に、状況に配慮いたします。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8					日々の聞き取りも含めて、定期的に面談の機会を作っています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8					寄り添える支援を行えるように日々取り組んでいます
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6				2	・参加の機会はあったが、仕事の都合上参加できなかった。 定期的に保護者会を開催しており保護者同士も交流を行っております。今後も開催予定ですので、ご都合が合えば是非ご参加下さい。	



	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8				・突然の休みや利用などすぐに対応していただき大変助かっています	ありがとうございます。今後も可能な限り対応させていただきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8					日頃から保護者様や子どもとのコミュニケーションを大切にしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	6			2	・Instagramでの利用の様子が見られるので楽しみにしています。	ありがとうございます。今後も随時更新していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8					十分気を付けているつもりです。お気づきのことがありましたら遠慮なくお申し出下さい。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6			2		当事業所が策定しておりますマニュアルに基づいて対応しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	2		1		定期的に防災訓練を実施しています。今後は実施前に予告、実施後には報告をさせていただきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6			2		今後も安全面には十分に配慮し、支援を行っていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8				その都度、丁寧にご連絡を頂いております。	引き続き、その都度なにかあれば丁寧に説明させていただきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	6	2				療育を通して信頼関係を築き、安心して通所できるよう支援しています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	6	2			ぼぼわに行きたいと本人から言ってくれるので嬉しいです。安心しています。	ありがとうございます。今後ともかわらぬ支援を志します。ぼわでの時間が楽しい時間となるよう工夫していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	6	2			ぼぼわへ通い出して、集中して学習できる環境ができ嬉しく思います。曜日の変更等快く受け入れて下さりありがとうございます。	利用児と保護者の方、一人ひとりに寄り添いながら、発達のお手伝いができるよう支援することを心掛けています。

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	ぼぼわ				公表日	2025年 3月 11日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		法令に基づいたスペースを確保しています。	現状を維持していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		法令に基づいたスペースを人員以上を配置しています。	現状を維持していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		外部で道路に面していてフェンス等がない部分があるが、職員の対応にて利用者を見守り十分に考慮して対応している。	現状を維持していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		清掃・換気を季節を問わず心掛けている。こまめに清掃を行い心地よく過ごせる環境整備を心がけています。	現状を維持していきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		集団活動や、個別に応じて臨機応変に環境を整えています。	現状を維持していきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		日々職員間で情報を共有し、ケースカンファレンスを定期的に行っています。	定期的にカンファレンスを行えるよう、予定表に記入うして全職員に周知する
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		年に一度保護者の方にアンケートにご協力して頂きご意見を受け止め、業務改善に努めています。	定期的にカンファレンスを行えるよう、予定表に記入うして全職員に周知する
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		日々職員間で情報を共有し意見を反映するように努めています。	必要な情報はメモにして周知する。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4	今後必要に応じて検討していきます。	今後必要に応じて検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		スタッフミーティングを実施しています。	様々な内容の研修会を実施する。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		ホームページにて公表していきます。	現状を維持していきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		お子さんの成長、発達に応じてアセスメントを行っています。	現状を維持していきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		カンファレンスの場で共有し話し合うようにしています。	現状を維持していきます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		児童発達支援計画をもとに個々に合わせた支援を行っています。	全職員間で、しっかり確認していきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		事業所独自の物を使用し、お子さんや保護者の方の状況やご要望を理解できるためのアセスメントを心がけます。	日々の気づきを書き留めて、職員間で検討、確認を行います。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		保護者の方のご要望を大切にお子さんに必要な支援の内容をわかりやすい文章で表現するようにしています	現状を維持していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		支援にあたる職員で意見を出し合い、よりよい内容になるようにしています。職員間で意見が出しやすい環境作りをしています。	日々の気づきを書き留めて、職員間で検討、確認を行います。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		お子さんの特性や発達に合わせながら季節を感じられる製作や音楽、体操などを取り入れています。	職員で話し合い、新しいものも取り入れる。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		特性及び発達状況に合わせて個別と集団のバランスを考えて計画していきます。	日々の気づきを書き留めて、職員間で検討、確認を行います。

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		主担当の職員を中心にその日の内容、動きを確認、共有していきます。	現状を維持していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		その日行われた支援について振り返り、気づいた点を共有し次につなげています。	現状を維持していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		日々の活動記録を取り、成長や発達に合わせた内容の見直しをしています。	日々の気づきを書き留めて、職員間で検討、確認を行います。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		半年に一度モニタリングを行い、振り返りや今度の課題を保護者の方と共有しています。	普段から気になることを書き留めて振り返りやすくしていきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	4		個々のお子さんの状況に応じた支援ができるよう工夫しています。	4つの基本活動を教室に張り紙をして、普段から職員が意識して支援するようにします。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		子どもたちの気持ちを大切に、自主性を育てるよう取り組んでいます。	子どもたちの意思を尊重し、待つことを大切にします。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		担当者会議には、児童発達支援管理責任者が極力出席するようにしています。	他の職員も必要に応じて出席します。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		直接保育所の保育士さんと情報共有のため、お話をする機会を持っています。	現状を維持していきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		保護者の方の許可を頂いて直接学校と連絡をさせて頂いています。	現状を維持していきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4		保護者の方を通して、支援内容の情報共有、直接お話しをする場合があります。	積極的に情報共有に努めます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4		各機関との必要な情報共有に努めています。	積極的に情報共有に努めます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	4	今後は事業所向けの研修にはできる限り参加し、助言を受けます。	様々な内容の研修会に参加します。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4		可能な限り時間を有効活用して利用しております。	現状を維持していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4		各機関との必要な情報共有や参加に努めています。	現状を維持していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		保護者の方には、送迎時や連絡ノートで情報を共有しています。個別面談もしています。	日々の療育のプログラムや様子をしっかりと伝えることを心掛けます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1	ご家族での困りごと等については、個別にご相談の時間を作っています	相談しやすい関係を築けるよう、信頼関係の構築を目指します。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		契約時にお話をしています。	ご理解いただいているか、各項目で確認しながら丁寧に説明します。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		日頃から保護者の方と話をする機会をとり、情報や要望を共有しています。	相談しやすい関係を築けるよう、信頼関係の構築を目指します。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		保護者の方と面談を行い、しっかりと確認して頂いています。	現状を維持していきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		定期的には保護者の方と話をするなど、対話の時間を大切にしています	相談しやすい関係を築けるよう、信頼関係の構築を目指します。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4		保護者会等の行事を行い家族で参加して頂き交流の場を設けています。	保護者同士が交流できる行事を毎年開催できるよう考えていきます
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		相談があったら早急に職員で情報を共有し相談し対応にあたっています	相談しやすい関係を築けるよう、信頼関係の構築を目指します。

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4		Instagramでの配信で定期的に配信しています。	分かりやすく見やすいお便りであることを心掛けます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		職員一同、十分に気を付けるようにしています。	現状を維持していきます。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		お一人お一人の状況に合わせた分かりやすい対応を工夫しています	相談しやすい関係を築けるよう、信頼関係の構築を目指します。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4		ご招待はしていませんが、地域の方との関係を大切にしています。	地域に開かれた運営ができるよう交流機会を考えていきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		マニュアルを策定し、職員に周知すると共に毎月訓練を実施しています。	様々な事故を想定した訓練を定期的に行います
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		避難訓練は、毎月実施し、一年に一度危機管理課の元、訓練を実施しています	職員と利用者が参加し非常事態を想定した訓練をします。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		契約時に必ずフェイスシートを保護者に記入してもらい確認しています	フェイスシートに変更がある場合はその都度連絡を貰い、記入していきます。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		保護者からの申し出に対応しています。	フェイスシートに変更がある場合はその都度連絡を貰い、記入していきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		職員の研修を行い、安全管理に対して意識を高めています	現状を維持していきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		事業所内へ安全計画書をそなえてあり、いつでも保護者が確認できるようにしています。	保護者、利用児共に安心して事業所が利用できるようにしていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		事故報告書、インシデント報告書を使用して、危険事項の共有をしています。	危険だと思うことがあればメモを取り、ヒヤリハットとして職員で共有します。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		虐待防止委員会を作り、意識向上のための研修を実施しています。	現状を維持していきます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		現在対象児童はおりませんが、医師の指示のもと必要な場合は保護者の同意書を頂き、計画書に明記します。	現状を維持していきます。